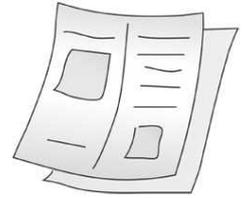


進路だより 第2号**来週水曜日(18日)から中間考査(1・3年は17日にもあります)です。**

時間割は下のようになっています。1年生は初めての定期考査, 2年生は取り組み次第で1年生のときと成績が大きく変わる試験, 3年生は仮評定に大きな影響がある試験です。

	校時	1年	2年		3年	
			文系	理系	文系	理系
5/17 (火)	6				倫理/自習	
	7	国総(現)			数学(前)	数学(前)
5/18 (水)	1	世界史A	現代文	現代文	現代文	現代文
	2	化学基礎	生物基礎	生物・物理	地学基礎	物理・生物
	3	コミュ英I	コミュ英II	コミュ英II	コミュ英III	コミュ英III
5/19 (木)	1	数学(前)	地歴選択	地歴選択	生物基礎	化学
	2	日・地	数学(前)	数学(前)	政経/現社	現代社会
	3	国総(古)	古典	古典	古典	古典
5/20 (金)	1	英語表現I	英語表現II	英語表現II	英語表現II	英語表現II
	2	地学基礎	自習	化学	数学(後)	数学(後)
	3	数学(後)	数学(後)	数学(後)	地歴選択	地歴選択



試験勉強は順調に進んでいるでしょうか。次の文章を読んでください。

定期テストはセンター試験対策に超有効

センター試験と学校のテストは関連性が低いと感じる人って多くないですか?でも、実際、学校の定期テストって超~大事だし意味ありまくりです。極端にいうとセンター試験なんて定期テスト10回分くらいの内容が聞かれる程度です。定期テストで勉強計画をつくり、計画を実行し、反復をする練習。二週間程度でこれらの作業を一気に行える定期試験は、定期的な計画と実行・反省が必要なセンター試験のための格好の練習機会です。また、定期テスト前に友達同士で教えあうことも勉強になりますし、定期テスト対策委員会なんていう組織を作るのもいいかもしれません(現につくっている進学校もある)。何が出るのか友達と予想しあったりするのは結構楽しいですよ♪そして、復習を徹底(暗記)することで成績は確実に上がります。また、僕みたいにミスが多い人にオススメなのですがミス専用ノートを作って教科ごとにまとめておくと最後の最後に劇的な成績の伸びが生まれるように感じます。

この文章は、指宿高校の卒業生に在校生へのアドバイスをお願いした際、その卒業生が在校生のために準備したプリントの一部です。(全部を見たい人は進路室へどうぞ)

この卒業生は鹿児島大学教育学部に入りましたが、どうしても医者になりたいと決意し、休学して受験勉強に励み、鹿児島大学の医学部医学科に合格しました。指宿高校の後輩のためにこのような準備をしてくれる面倒見のよい人物なので立派な医師になると思います。

先輩の文章にあるように、定期考査をうまく利用して力をつけていきましょう。

裏面は、2・3年生には昨年紹介した文章です。帰宅後、学習をなかなか始めることができず、勉強時間が不足してしまったり、課題への取り組みやテスト勉強などがその場しのぎになったりしてしまう生徒もいるのではないかと思います。帰宅直後学習に取り組もう!

『家に帰ってから最初に座る場所で、自分の人生が決まる』

まずは下の文章を読んでみてください。

仕事から帰ってきたお父さんが、いったんテレビの前に座ったら、次にその場所を離れるのは寝るときだったりします。人によってはその場で寝てしまうほどです。

最初に座った場所がパソコンの前だったりすると、パソコンの電源を切るのはついつい夜中になってしまいます。

みんな同じなんです。

わたしはきっと、あなたも同じじゃないかと思うんです。

どうですか？ 和花さん。



あなたの貼った「毎日六時間勉強する」という張り紙は、やがて大きなプレッシャーとなる日が来るでしょう。それがあなたにとっての義務となった日から、強い忍耐を強いられることになるはずですよ。

あなたが希望する大学に合格した先輩に「毎日どれくらい勉強しましたか？」とたずねたら、「そうねえ。平均で六時間くらいはやったかな」という答えが返ってきたとしても、それはあくまで結果論。勉強をしていたら毎日六時間ぐらいになっていたというだけで、「一日六時間やれば受かる」という成功のための方法論ではありません。

時間数を目標にして、勉強で成功した人はいません。「やる気がしないなあ」と思いながらする六時間は、成長を楽しみながらする一時間に劣るのです。

忘れないでください。あなたには、いったん始めたことを途中でやめたくないと思う気持ちが備わっています。それを何時間やらなくてはいけないという義務に変えてしまうのはもったいないことです。

五分でもいい。大切なのは、最初に座る場所をあなたが勉強する場所にすること。始めてしまえば、あとは何時間やろうがかまいません。日によっては六時間ぶつつげなんて日もあるでしょうし、一時間もすると疲れてしまうときだってあるかもしれません。そんな日はそれでいいんです。

でも、必ず毎日、まずは机の前に座って自分を磨きはじめる。その意志を持つだけで、あなたの人生は一変することでしょう。

そう、成功法則とは、一部の人にしかできない特別なことではありません。

あらゆる人が生まれながらに持っているものを使ってできる、単純なことなんです。

あなたの部屋の張り紙をこう変えてみてください。

「今すぐ勉強を始める。五分でやめてもいいから、とにかく始めてみる」

それを実行することによって、いつかあなたも「毎日六時間ぐらいはやったかな」という結果論を言う側になるはずですよ。

あなたが帰宅後に最初に座る場所を、自分の意志でコントロールする勇気があれば、あなたの夢は実現されたも同然です。それができれば、「涙を流しながら必死で努力して」なんてことには、きっとならない。

すごいことを、長時間やる覚悟は必要ないのです。

ただ、自分の家の扉を開けた瞬間に、『まずは自分を磨くための場所に座り、それを始めよう。それ以外のやりたいことはそのあとだ』

と考える習慣をつければいいだけなんです。

試してみてください。きっと、今までより気楽に「勉強」を続けることができると思いますよ。

喜多川 泰 ~私の受験勉強を変えた十通の手紙~「手紙屋」蛍雪編

本当はしっかりと勉強したいのになかなか実行できない人もいますでしょう。

そこで、皆さんに提案です。自宅に帰ったら着替えたりせず、まず自分磨きの場所(勉強机?)に15分座りましょう。そこで、授業の復習をしてもいいですし、英単語を20個覚えるなどしてもいいと思います。机を離れるときは、あとでしようと思っている教材を準備しておくと、次のスタートがうまくできると思います。

そのあとで、食事なりお風呂なりをするようにしてみませんか？

たった15分の帰宅直後学習が、君の進路実現に必ずつながります！

